

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	観光型ホテル （商品企画担当）	販売量の動き	・乗客数は、3か月前のトップシーズンとの比較ではやや落ち込むものの、例年同月との比較では10ポイント以上増加している。大型の国際学会や世界的規模の企業コンベンションなどの受け入れが大きな要因である。10月、11月の沖縄は修学旅行のピークとなるが、コンベンション関連も同時期に定着しつつある。
	やや良くなっている	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・商店街の状況としては相変わらず厳しい面があるが、国内旅行用の鞆や靴を求める来客数は増加している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・商品単価が低く、売上は前年同月値に届かないものの、来客数が前年同月比で10%増加していることから、やや良くなっている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・修学旅行客のシーズンとなり高校生が多くなっていることから、購買金額は横ばいもしくは減少しているが、去年同月に郊外に大型スーパーができたことで大幅に売上が減少した数値と比較すれば非常に回復している。
		高級レストラン （副支配人）	来客数の動き	・来客数が先月、先々月に比べて増加している。昼食の団体に加え、夜についても、大規模な大会等の沖縄開催などにより来客数が増加している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子	・11月中に当店周辺で、4店舗の新規飲食店舗のオープンが予定されており、競争の激化が予想されるが、客の動きは良くなってきている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・大型の団体が2本ほど取れ、販売量が大幅に伸びた。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数は県外からの入域観光客数の増加及びモノレールの運行により前年同月比で大幅に増加している。
変わらない	百貨店（担当者）	お客様の様子		・モノレール効果や1年前の大型競合店開店の影響が払拭される等、店舗全体の売上は前年同月比で改善がみられるが、来客数は前月比で1%前後しか改善しておらず、これらの上昇分も10月に入ってから気温の低下により主力の衣料品が好調に推移したことによるものであることから、景気が回復傾向にあるとは判断できず、今後も買上げ客数やタ・ゲット別の動向に注意が必要である。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客数は増加しているものの、客単価は前年同月より少ない。	
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・商品単価が前年の101.2%、一人あたりの単価が前年の101.9%とそれぞれ横ばいとなっている。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・9月同様に、前年同月比の来客数はかなり好調である。	
	その他専門店 〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・雑誌や週刊誌、月刊誌などの衝動買いがほとんどない傾向が続いている。自分の欲しい物や目的以外の商品は、ほとんど買わずに、店頭にて立ち読みして帰っていく客が増えている。	
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・相変わらず、他のゴルフ場との低価格競争が続いており、今のところはまだ、変わらない。	
	やや悪くなっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・ここ4、5か月は客単価が下げ止まったかに思われたが、今月は1ポイント悪化している。
家電量販店（副店長）		競争相手の様子	・競合店の価格競争による激安価格も出てきており、厳しい状況である。	
住宅販売会社（従業員）		来客数の動き	・住宅金融公庫の住宅融資金利が上昇した事や先行きの不透明感がぬぐえないのか、展示場、見学会の来客数が先月より減少している。	
悪くなっている				
企業 動向	良くなっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・客の増加やプロ野球の優勝セールによる経済効果により物量が多くなっている。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べ来客数が増加していることから、景況は良くなっている。
	変わらない	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・廉価な新サービスのリリース後、新規顧客からの引き合いはあるものの、既設ユーザーの新サービスへの切替えもあり、全体としては売上増加に至っていない。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注件数が減少している。
		通信業（従業員）	受注量や販売量の動き	・他社サービスとの価格競争において、ある程度のスキルを有する顧客には、サービスを低減し価格を抑えた商品は魅力的のようで、そのような顧客が安価なサービスを提供する会社に流れている。
	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・広告に対する問い合わせや、依頼件数が減少している。	
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・観光の現場や公的機関からまとまった派遣要請があり、以前よりやや持ち直している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・継続的なものなのか一過性の動きなのかについては様子を見ていく必要があるが、官公庁関連の求人等の問い合わせに加え、民間企業からの求人依頼数に増加傾向がみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・依然として観光関連企業等への相乗効果は出ておらず、求人数の増加になかなかつなげていないが、観光関連業に関しては観光客の増加により3か月前より好転しつつある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人を望む企業は多数あり、需要は増加しているが、就職してもその職に定着しないため、経費がかさむとして募集を控えている企業が多く、求人数が減少している。中には頑張って人材確保のため、応募を続ける企業もあるが、その数少ない求人企業に求人情報誌関連会社が殺到し、競争しあい、2～3社の重複掲載で実質求人総数の拡大に至っていないという状態が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は雇用形態別にみると、一般求人が3か月前に比べ1.0%減、パート求人が14.7%減となっている。 ・産業別の求人をみると建設業、サービス業で増加したものの、製造業、運輸・通信業、卸売・小売業・飲食業で減少している。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	